

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(2)	地域の行事や事業所での行事等を通じて交流が行われているが、日常的に利用者が隣近所との交流をさらに拡大する事が望まれる。	納涼大会やクリスマス会、には近隣の住民を招待し、ニューイヤー駅伝の応援、ねぶた祭りの見学を近隣の人たちとなるなどの実施しており、また近所にあるカフェや散歩や買い物等を通じ交流もしている。さらに、地元のボランティアのレクリエーションも積極的に受け入れている。 上記のような活動を継続しているがそれをさらに拡大していく。	従来からの地域住民との交流を継続する事により、より多くの人々と交流が深まるように取り組む。	常時継続
2	(10)	「24時間生活変化シート」の「ケアのアイデアと工夫」欄を参考にしながら、6ヶ月ごとの介護作成時に家族からの要望、意向を反映するようにしており、そのケアプランのモニタリングの各項目の掲示根拠より明確にする事が望まれる。	ケアプランのモニタリングの各項目の中で、前回のプランから継続となったものについては、その理由が解るように記載していく。	即日実施。	実施済み
3	(13)	消防立ち合いのもと、定期的に避難訓練を行っている。市の「防災マップ」をもとに洪水時の「避難計画」の見直しや自家発電設備の設置など、災害時の対応策を講じている。さらに災害発生時の地域とのさらなる共助協力体制作りが望まれる。	近隣住民との災害発生時の近隣住民との共助協力体制づくりを進めていく。	1、区長や隣組と、入居者の避難時の見守り(徘徊の恐れがあるため)の支援を引き続きお願いしていく。 2、介護施設に理解のある近隣の住民に対して、災害時の協力体制作りに取り組んでいく。	令和2年 3月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。